資料2

議題２　環境への負担を軽減させる取組みに対する補助等の実施状況について（豊川市提出）

市名	回答
	（１）補助等の実施状況について
名古屋市	名古屋市では、農業協同組合等及び認定農業者等において農業施設・機械・機器等の導入を推進するため、優良農地保全利用対策事業を実施している。そのうち環境保全型農業推進用資材として、農業用使用済プラスチック等の適正処理、環境保全型農業資材（緑肥作物、性フェロモン等誘引剤及び生物農薬、生分解性マルチフィルム、防虫ネット、べたがけ資材、粘着トラップ、ウイルスフリー苗、食品残渣や剪定枝を主原材料とするリサイクル堆肥その他特認資材）、有機農産物の登録認定に要する経費に補助を行っている。補助金上限額は、団体では2分の1以内で100万円、個人では3分の1以内で30万円である。
豊橋市	現在、生分解プラスチックマルチ、長期展張フィルム等の環境負荷低減に係わる資材の導入に対する補助事業は設けておりません。
岡崎市	平成30年より、環境保全型産地形成対策事業費補助金として有機肥料、花粉交配用昆虫、並びに生物農薬の利用を促進し安全・安心かつ環境に配慮した農業の推進を図るため支援を実施している。 生物農薬の導入に係る事業としては、ＪＡのなす部会及びいちご部会に対して導入経費の100分の20以内として交付している。
一宮市	なし
瀬戸市	無し
半田市	該当なし
春日井市	本市独自の補助事業は実施しておりません。また、国等の補助事業の活用実績もありません。
豊川市	本市では取り組みはありません。
津島市	実施していない。
碧南市	当市では、環境保全型農業推進事業として、次の補助金を交付しています。 ①農業用使用済プラスチック等改修促進対策事業費補助金（R03d予算額　600,000円） 　廃ビニール、廃マルチ等の農業用使用済プラスチック等の回収促進に要する経費の一部を補助。補助率４分の１。 ②減農薬資材導入促進事業費補助金（R03d予算額　500,000円） 　フェロモントラップを設置しての共同防除に要する経費の一部を補助。補助率２分の１又は１団体当たり２０万円のいずれか低い額。
刈谷市	本市では代かきによる水質汚濁対策を目的とした「水稲直播栽培推進事業補助金」があります。補助内容としては、鎮圧方式で整地した乾田直播を行い水稲を栽培する事業に5,000円/10a、代かき時に20Kg/10a以上塩化カリウムを散布する事業に1,000円/10aを交付する２つのメニューがあります。補助対象者は、認定農業者と認定農業者が構成員となっている団体のうち、市長が認めたものです。
豊田市	地場農産物産地育成対策事業（組織育成費）で、地場農産物の産地化を図るための生産組織の育成に要する経費に対し、３/１０の補助率で補助金を交付している。環境に配慮した農業の取組については、コンヒューザーや天敵保護装置等の試験的導入を補助対象経費としている。

議題２　環境への負担を軽減させる取組みに対する補助等の実施状況について（豊川市提出）

市名	回答 （１）補助等の実施状況について
安　城　市	現在、環境への負担を軽減させる取組みに対する補助等については、実施しておりません。
西　尾　市	⑴　大豆害虫防除対策事業 【補助対象】フェロディンＳＬ（フェロモン剤）※農薬登録有 【用　　途】大豆及び秋冬作物に加害するハスモンヨトウを誘引し、捕殺する。 【負担軽減】トラップとの併用により雄成虫を捕殺し、次世代幼虫を減少させることで、防除のための農薬を低減する。 【そ の 他】補助率1/2以内、予算額1,814千円、平成19年度から継続補助 ⑵　コンフューザー設置事業 【補助対象】コンフューザーＮ（交信撹乱剤）※農薬登録有 【用　　途】梨に加害するナシヒメシンクイの発生数を低減する。（殺虫作用無） 【負担軽減】性フェロモンの作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し、次世代幼虫を減少させることで、防除のための農薬を低減する。 【そ の 他】補助率1/3位内、予算額268千円、平成21年度から継続補助
蒲　郡　市	補助等による導入促進事業については実施していない。
犬　山　市	実施なし
常　滑　市	実施しておりません。検討までは至っていません。
江　南　市	当市においては現在環境への負担が軽減される資材の購入費に対する補助等の導入促進事業を実施しておりません。 しかしながら、市内に有機農業の研修ができる事業所があることから、市内における研修生の支援を積極的に行っています。
小　牧　市	本市において、当該事業に関する補助等は実施しておりません。
稲　沢　市	特に行っていない。
新　城　市	特に実施しておりません。

議題２　環境への負担を軽減させる取組みに対する補助等の実施状況について（豊川市提出）

市名	回答 （１）補助等の実施状況について
東　海　市	○　環境保全型農業推進補助事業 １　概要 　市内農業者が排出する農業用の使用済みプラスチック等の収集運搬処理に要する経費に対して補助するもの。（令和２年度で廃止） ２　補助率　３分の１ ３　補助開始年度　平成１４年度（年度要綱により事業実施） ４　令和２年度実績金額（536,500円） 　ア　農業用ビニール　10,955kg 　イ　ポリ（マルチ）　20,575kg 　ウ　農薬ポリ容器　12,504本（ア＋イ＋ウ　115人） ○　減農薬推進補助事業 １　概要 　ア　非散布型農薬（複合成性フェロモン剤）による害虫駆除 　イ　害虫誘引捕殺粘着板（バグスキャン）による害虫駆除 　ウ　農薬減少につながる、花粉交配用ハチを使用した野菜栽培 ２　補助率　２分の１ ３　補助開始年度 　ア　平成１６年度（年度要綱により事業実施） 　イ　平成２１年度（年度要綱により事業実施） 　ウ　平成２３年度（年度要綱により事業実施） ４　令和２年度実績金額（総額：1,606,500円） 　ア　432,200円（360箱） 　イ　57,600円（　5件） 　ウ　1,116,700円（ 13件）
大　府　市	「大府市環境保全型資材等購入推進事業補助金」として、緑肥作物の利用や生分解性マルチフィルムの設置に対して補助金を交付している。
知　多　市	本市では営農推進を目的として組織された地域の営農団体が行う、環境保全型農業推進活動（フェロモントラップの設置）等に関する経費に対して補助（経費の３分の１以内で、限度額は１団体当たり４０万円）を行っています。また、あいち知多農業協同組合が環境保全型農業の構築を目指し実施する農業用使用済ビニール・プラスチック類等の適正処理事業に対して補助（経費の３分の１以内、限度額は１０万円）を行っています。
知　立　市	実施なし。
尾張旭市	該当なし
高　浜　市	実施していません。
岩　倉　市	岩倉市では、市内の農業者や農業団体が行う農業振興事業の実施に要する経費に対して助成金を交付する「岩倉市農業振興事業助成金制度」を設けております。具体的な補助対象事業については、別添「岩倉市農業振興事業助成金助成対象事業一覧」のとおりです。 環境への負担が軽減される資材の導入については、本制度の助成対象事業として明確に規定されているわけではありません。しかしながら、環境に配慮した持続可能な農業の推進については、その発信の仕方によっては、本市産農産物の消費拡大やブランド力向上など、本市の農業振興及び生産者の経営安定に繋がる可能性があるため、取組の内容次第ではありますが、本助成制度の活用により支援できる場合があると考えます。 ただし、現段階ではこれに該当する事例はありません。

議題２　環境への負担を軽減させる取組みに対する補助等の実施状況について（豊川市提出）

市名	回答
	（１）補助等の実施状況について
豊　明　市	該当なし
日　進　市	農林水産省が進める「日本型直接支払制度」のうち「環境保全型農業直接支払交付金」に係る補助金交付要綱を制定し、事業認定を受けた事業者に対して補助を行い、自然環境の保全に資する農業の普及に努めています。
田　原　市	・輪菊栽培におけるLED化の推進に要する経費補助(H30～継続実施) ※R3予算額500,000円、補助率1/5(上限50,000円)
愛　西　市	生分解性プラスチックマルチ等の購入費に対する補助等は行っていないが、環境保全型農業直接支払事業で堆肥の施用やカバークロップの取組に対し補助を行った。
清　須　市	本市では補助等の取組みをしておりません。
北名古屋市	特になし
弥　富　市	本市としましては、導入の促進を図る取組みについての考えは、今のところありません。
みよし市	無
あ　ま　市	実施していない。
長久手市	市独自の補助事業はありません。